

お口のくち

健康情報室

歯並びやかみ合わせが悪い場合、永久歯が生えそろう年齢までなら「咬合誘導」という小児歯科治療があります。歯・顎・顔面が正常に発育し、健全に永久歯が生えそろうように行う治療です。

咬合誘導は、異常が起こる前に処置して不正咬合を予防する「静的咬合誘導」

成長期 歯並び誘導も

と、異常を早期発見して処置し、不正咬合を予防する「動的咬合誘導」に分かれます。

例えば、乳歯が早期に抜けた場合、永久歯が生えるスペースがなくならないよう、隙間を保つ装置を入れます（静的咬合誘導）。歯並びやかみ合わせが悪い場合、ワイヤなどを使用して正常な位置に誘導します（動的咬合誘導）。

このように、咬合誘導は矯正治療と目的は同じですが、咬合誘導は予防をしながら早期処置し、永久歯を正常な歯

並びやかみ合わせへと誘導することを主眼としています。成長期で、ある程度の条件がそろってれば、咬合誘導の考え方は非常に大切と考えます。

(千葉県歯科医師会)



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(千葉・当地版)